

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期総社市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岡山県総社市

3 地域再生計画の区域

岡山県総社市の全域

4 地域再生計画の目標

総社市は、これまで「子育て王国そうじゃ」を掲げ、子育て支援施策の充実や、障がい者千五百人雇用など独自の福祉施策を推進してきた結果、人口減少社会にあっても人口増加を続けてきた実績がある。しかし、少子高齢化の進行は避けられず、今後は人口減少局面に入ることが予測され、地域コミュニティの衰退や地域経済の破綻に繋がる等、持続可能なまちづくりが困難となり、市民の生活にとって重大な影響を与えられとされる。

こうした中、第3次総社市総合計画においては、「やさしさ」をキーワードに、市民一人ひとりが尊重され、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる社会の実現を目指している。

本計画では、「住む人」「働く人」「学ぶ人」「集う人」それぞれに「やさしいまち」を創るとともに、「みんながワクワクするまち」として地域資源のブランディングや情報発信を強化することで、関係人口の創出や移住定住の促進による地域コミュニティと地域経済の活性化を図る。

具体的には、こども・若者が主人公になれる環境整備、多様な人材が活躍できる雇用の創出、魅力ある教育環境と生涯学習の推進、市民と行政が共創する地域づくり、そして歴史文化遺産等の地域資源を活かした観光振興等に重点的に取り組み、持続可能なまちづくりを実現する。

これらの取組をとおして、「挑戦 岡山の新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化

先駆都市～」を実現する。

- 基本目標 1 住む人にやさしいまちを創る
- 基本目標 2 働く人にやさしいまちを創る
- 基本目標 3 学ぶ人にやさしいまちを創る
- 基本目標 4 集う人にやさしいまちを創る
- 基本目標 5 みんながワクワクするまちを創る

【数値目標】

本計画の達成状況については、以下の重要業績評価指標（KPI）を用いて毎年度検証を行う。

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市民にとって「やさしいまち」だと思う人の割合	74.1%	80%	基本目標 1
イ	働く人に「やさしいまち」と感じる人の割合	現状数値なし (令和8年12月に集計予定)	20%	基本目標 2
ウ	総社市に愛着を感じている人の割合	79.2%	85%	基本目標 3
エ	総社市の未来のために何か協力したいと思う人の割合	81.8%	85%	基本目標 4
オ	総社市公式LINEの登録者数	29,145人	35,000人	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

総社市「やさしさ」と「ワクワク」で創る未来のまち推進事業

- ア 住む人にやさしいまちを創る事業
- イ 働く人にやさしいまちを創る事業
- ウ 学ぶ人にやさしいまちを創る事業
- エ 集う人にやさしいまちを創る事業
- オ みんながワクワクするまちを創る事業

② 事業の内容

ア 住む人にやさしいまちを創る事業

「こども・若者が主人公になれるまち」を目指し、こども施策を総合的に推進していく。また、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムや重層的支援体制の整備を推進する。さらに、医療支援の充実や防災・減災対策の強化、快適な都市基盤の整備により、安全・安心な生活環境を確保する。

【具体的な事業】

- ・子育て王国そうじゃ推進事業
- ・地域共生社会実現事業 等

イ 働く人にやさしいまちを創る事業

多様な人材が活躍できる雇用の創出を目指し、企業誘致や起業支援、事業承継支援を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進による働きやすい環境づくりを行う。「障がい者千五百人雇用」等の施策を通じ、障がい者の就労・自立支援を強化する。また、「地食べ事業」を核とした地産地消や儲かる農業の推進により、地域経済の活性化を図る。

【具体的な事業】

- ・障がい者千五百人雇用センター運営事業
- ・企業誘致・創業支援事業
- ・「地食べ」推進事業 等

ウ 学ぶ人にやさしいまちを創る事業

「心」を重視した教育を推進し、不登校対策や特別な支援が必要な児童生徒への支援を充実させる。また、GIGA スクール構想による ICT 活用や、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の全校設置を目指す。生涯学習やスポーツ振興においては、「そうじゃ吉備路マラソン」の開催や、作山古墳や備中国分寺等の文化財活用を通じて、郷土愛の醸成と交流人口の拡大を図る。

【具体的な事業】

- ・魅力ある学校づくり推進事業
- ・生涯スポーツ推進事業
- ・文化財保存活用事業 等

エ 集う人にやさしいまちを創る事業

市民提案型事業やボランティア活動の支援により、地域課題を市民自らが解決する仕組みを構築する。また、「日本一市民にやさしい市役所」を目指し、窓口のワンストップ化や「スマホ市役所」の推進など、DX を活用した利便性の高い行政サービスを提供する。周辺自治体や大学、民間企業との広域連携も強化する。

【具体的な事業】

- ・市民提案型地域づくり事業
- ・日本一やさしい市役所実現事業（窓口 DX 推進） 等

オ みんながワクワクするまちを創る事業

備中国分寺や鬼ノ城などの歴史文化遺産を活かした観光ブランディングを推進し、観光客数の増加を目指す。また、ふるさと納税制度や SNS を活用したシティプロモーションを強化し、関係人口の創出・拡大を図ることで、将来の移住定住につなげる。

【具体的な事業】

- ・観光地域づくり推進事業
- ・シティプロモーション・関係人口創出事業
- ・ふるさと納税推進事業 等

※なお、詳細は第3期そうじゃ総合戦略（第3次総社市総合計画前期基本計

画内) のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

9,000,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年10月頃、外部有識者等で構成する検証機関（総社市総合計画審議会等）において、K P Iの達成状況や事業の効果検証を行い、その結果に基づき事業の見直しや改善を行う。検証結果については、市公式ウェブサイト等を通じて速やかに公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで